

### 第3回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会会議録

- 1 開 会 平成24年10月22日（月） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 宮菌委員長、上石委員長職務代理委員、宮原委員、杉野委員、小野島委員、丸山委員、小越委員、阿部委員、関委員、石黒委員、鈴木委員、住吉委員
- 4 説明のための出席者  
池浦教育部長、大平教育総務課長、高橋学校教育課長、嘉代小中一貫教育推進室長、高野教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長、野水教育総務課庶務係主任
- 5 傍聴人 4人
- 6 会議次第
  - (1) 開 会
  - (2) 会議録の承認
  - (3) 議 事
    - ア 校名第一次候補の決定について
    - イ 校名候補案（最終）の選定方法について
  - (4) 次回制定委員会の日程について
  - (5) その他
  - (6) 閉 会

### 7 審議の経過及び結果

#### (1) 開会

(宮菌委員長)

これより第3回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会を開催いたします。

最初に、教育部長よりごあいさついただきたいと思います。よろしくお願いします。

(池浦教育部長)

皆さんこんにちは。今日は非常に秋晴れで気持ちの良い日になりました。ここ2週間くらいで一気に、一足飛びに秋が来たという感じで朝晩本当に寒くて、職員の中に風邪を引いた者もいまして、恐縮しております。皆さま方にはお忙しい中、ご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

今日は第3回目ということで、7月に第1回目を開催いたしまして、順調に議論が進

んでいるところでございます。第3回目に参りまして、この委員会の大きな役割であります校名をどうするかという核心の部分の議論に入ってゆく、ということになってきております。

既に今回の公募の結果につきましては、事前にご配布をさせていただいているところでございますが、1か月間募集をさせていただいたところ、無効も含めまして、156通の公募がございました。

委員の皆さま方をお願いしたいのは、この制定委員会として、今後これをどのように絞っていくか、さらに、一定の方向性まで出していただければ、なお幸いかという思いで、今日の委員会を持たせていただいております。どうぞ、それぞれのお立場、あるいは委員さんとしての俯瞰的な立場からご議論いただきまして、良い方向が出るよう、よろしくをお願いしたいと思います。以上でございます。

(宮菌委員長)

本日の会議の成立について、ご報告申し上げます。本日の会議は委員12名全員出席をいただいておりますので、委員会の設置要綱第5条第2項の規定により、本日の会議が成立することをまずご報告申し上げます。

## (2) 会議録の承認

(宮菌委員長)

それでは、(2) 会議録の承認について、事務局説明をお願いします。

(大平教育総務課長)

第1回議事録の修正についてでございます。先回の会議でご指摘いただいた箇所を、修正をさせていただきました。会議録をご覧ください。3ページでございます。上石委員から、第一中学校と記載させていただいているところでございますが、第二中学校ということでございますので、こちら3ページの中ほど、アンダーラインを引いてございますが、第二中学校と修正をさせていただきました。

また、関委員から「おもい」という表記について、どちらの漢字が良いのかということでお話があったところでございますが、公用文の用語表示等を参考にしながら、会議録のとおり、「田」に「心」の「思い」に統一をさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。

(宮菌委員長)

ただ今、2点の修正がありましたが、第1回の会議録の修正と、第2回会議録全体について、ご意見・ご発言がございましたらお願いいたします。

それでは、ないようですので、会議録につきましては、承認することで異議がございませんか。

——異議なしの声あり——

では、承認することに決定いたします。

## (3) 議事

## ア 校名第一次候補の決定について

(宮菌委員長)

それでは議事に入らせていただきます。本日の議事は2点でございます。

まず、第1点目校名第一次候補の決定について、事務局から説明をお願いします。

大平教育総務課長が説明

### ・ 第一候補案とその選定理由

(宮菌委員長)

ただ今、有効数151件ということでしたが、どのような形で応募しているかという情報を補足させていただきます。

1番多かったのが郵送で107件。続いて、募集箱が27件。メールが17件の合計151件です。事務局においては取りまとめ、ありがとうございました。ただ今の件につきまして、何かご発言がございましたら、お願いします。

ないようですので、ただ今説明がありましたように、第一次候補の絞り込みですが、各委員の皆さま、151件の公募の中から、お1人3件を出していただきたいと思います。3件いらないという方も中にはいらっしゃるかもしれませんが、最大3件ということで、挙げていただきたいと思います。

また、選んだ校名の候補とその理由等について、ご発言ください。発言順につきましては、宮原委員から住吉委員へ、そして、上石委員から鈴木委員の順でお願いします。挙げていただいたものをホワイトボードに列記していきますが、ここでは応募数の多い校名候補が最終校名案として決定されるものではない、ということをお前の委員会でも確認させていただいております。あくまでも、今後の議論の参考ということで、ご理解をお願いします。

また、重複した場合は正の字で書いていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。それでは、宮原委員からお願いします。

(宮原委員)

1つ確認させていただきたいのですが、第一中学校の名称は、「三条市立三条第一中学校」ですか。「三条市立第一中学校」ですか。

(高橋学校教育課長)

「三条市立第一中学校」です。

(宮原委員)

「三条市立第一中学校」ですか。「三条」はつかないのですね。

まず1つ目は、「三条市立第一小学校」。小中一貫の一体校を、三条で最初にやるという意味と、ちょうど「第一中学校区」と同じ名称だという意味で、「第一小学校」です。

次に、「嵐南小学校」。先般上石委員がおっしゃったように、土地の名前をつけているケースが非常に多いということを考慮して、具体的な地名というよりも、広範囲の地名を表す「嵐南」という意味で、「嵐南小学校」。その2つです。

(大平教育総務課長)

「嵐南」ですが、漢字とひらがながございますが、どちらでしょうか。

(宮原委員)

漢字です。

(宮藺委員長)

では、次に小野島委員お願いします。

(小野島委員)

「南四日町」。具体的な地名であるということ、それから、3校の文字が入っているということで、まず「南四日町」です。

それから、漢字の「嵐南」。実は私は、地名から取るならば「嵐南」よりも「南四日町」の方が良いと思います。「嵐南」というと、今の三高以外も嵐南地域で、少し広範囲になるので、地名という観点から取ると「南四日町」が良いと思いますが、「嵐南」の方が校区のほとんどをカバーしていて、投票数も皆さんの一致が多いというところもありますので、こちらにしました。以上2つです。

(宮藺委員長)

では次に小越委員お願いします。

(小越委員)

やはり私も同じで、やはり1番馴染みのあるのが「嵐南小学校」だと思います。そして、皆さんと同じで、第一中学校区ということで「第一小学校」です。2つです。

(宮藺委員長)

もう少し説明等はよろしいですか。

(小越委員)

はい、家族で話したときも「第一中学校」に「第一小学校」が1番スムーズだね、という話が出ました。

(宮藺委員長)

小中が連続しているということですね。

(小越委員)

我が家の子どもたちの中で1番多かったのが「第一小学校」でした。「嵐南小学校」と言ったのは私と妻だけでした。

(宮藺委員長)

では、次に関委員お願いします。

(関委員)

私は「南四日町小学校」が1つ、あと「三条嵐南小学校」です。かなり迷いましたが、その2つです。

「南四日町」は、やはり地名重視ということで1つ挙げました。そして、あえて頭に「三条」をつけた「嵐南」なのですが、やはり「三条の」というのを残したいな、と思いついて。どこの学校もホームページを持っていますので、全国に発信する場合でも、「三条」という地名を出しておいた方がわかりやすいのではないかと思います。

(宮菌委員)

では、次に石黒委員お願いします。

(石黒委員)

私はまず第1番に、漢字の「嵐南」を推します。それ以外、もう1つあえて挙げれば「第一」かな、と思います。「あえて挙げれば」というのは、三条小学校が「第一」と言うべき学校ということを考えてのことです。その辺りのことで、感情的に納得がいかないという考えもあるかと思いつつも、あえて挙げれば「第一」です。その2つです。

(宮菌委員長)

では、次に住吉委員お願いします。

(住吉委員)

私は「第一小学校」を挙げました。やはり中学校と小学校で、「第一小学校」「第一中学校」というのが1番わかりやすいかな、というところと、あともう1つ、その前に「嵐南第一」と「嵐南」という漢字をつけるというのを挙げます。迷ったのですが、「第一」だけだと区域がわからないということで、その2つです。

(宮菌委員長)

大体皆さん2つくらいが多いですね。

では、次に上石委員お願いします。

(上石委員)

まず私は、真っ先に「南四日町小学校」を挙げます。なぜかという、小学校単位で考えると、地域の名前を取るのが1番だと思うからです。中学校単位で考えると、全体を広く見えますから、大事でないとも思うのですが、やはり私としては、「南四日町小学校」を1番に取ります。

2番目は、「嵐南小学校」も良いのではないかと考えています。しかし、1番目は「南四日町小学校」です。

(宮菌委員長)

では、次に杉野委員お願いします。

(杉野委員)

私は「嵐南小学校」の漢字の方です。もう「嵐南」で良いかなと思っているのですが、あえて挙げるとしたら、「桜」です。

(高野教育総務課長補佐)

ひらがなですか。

(杉野委員)

いいえ、漢字の方です。「第一」の方は「一」がつくのが、一ノ木戸小学校と紛らわしいのではないかという懸念を1つ持っておりました。

「桜」は瑞祥地名にも近いので、あまりよくないという考えもあるかもしれませんが、本成寺の「桜土手」だとか、それに「桜木町」もあるので、第2候補として挙げさせていただきました。ただ、基本的には歴史的な広域地名から取るというスタンスを取りたいと思いますので、「嵐南小学校」の方を第1に挙げたいと思います。

(宮藺委員長)

では、次に丸山委員お願いします。

(丸山委員)

私は漢字の「嵐南小学校」。理由は、四日町、条南、南いずれも水害で被災している学校ですので、それから立ち直って、新しい学校でまた頑張るという意味も含めて、「嵐南」が良いかなとも思いますし、第2は、「嵐南」だけではわかりにくいのであれば、前に「三条」をつけて「三条嵐南」とすれば良いのではないかと思います。その2つです。

(宮藺委員長)

候補が分散してきているようですね。

では、次に阿部委員お願いします。

(阿部委員)

私は、3つと言われたので3つ考えてきました。

第1には、やはり、「嵐南」。漢字の「嵐南小学校」でございました。パッと市内の小学校の名前を考えてみまして、やはり学区の地名を使っているというのが多いような気がしますので。「南四日町」とも考えたのですが、あまりにも狭い、その校舎が建っているところの地名であって、やはりそこへ登校する子どもたちが住んでいる、もう少し広い地域を包括したような地名が良いのではないかと思います。

もう1つは、「嵐南」ではあまり広すぎる、と言うようなら、「嵐南中央小学校」というのも1つ考えました。候補に挙げて良いかと思います。

それと、3つ目は苦しかったのですが、「三条南小学校」というのはどうかな、と考えてきました。以上です。

(宮藺委員長)

では、次に鈴木委員お願いします。

(鈴木委員)

小学校の名前を決めるということで、施設とかホームセンター的な考えではないわけですので、あくまでも小学校の名前ということ念頭に、検討させていただきました。

その中で、三条は五十嵐川を挟んで北と南に分かれているようなことがありまして、やはり、五十嵐川を挟んで南側ということで、漢字の「嵐南」が良いのではないかとということで、1番目に決めさせていただきました。

2番目としては、今建物の建っている住所が南四日町のわけですので、そのような地理的な面から、「南四日町」という形で、決めさせていただきました。

あと、3番目も、いろいろ考えたのですが、あえてこの2つに絞らせてもらいました。

(宮藺委員長)

ありがとうございました。ただ今、委員全員から候補の校名案を挙げていただきました。この結果につきまして、何か事務局の方からはありますか。

(大平教育総務課長)

今ほど選出いただきました校名について、確認をさせていただきたいと思います。1

つ目が「第一小学校」、2つ目が「嵐南小学校」、3つ目が「南四日町小学校」、4つ目が「三条嵐南小学校」、5つ目が「嵐南第一小学校」、6つ目が「桜小学校」、7つ目が「嵐南中央小学校」、最後が「三条南小学校」ということで、全部で8件、今選出をいただいたところでございます。よろしく願いいたします。

・ 第一候補案に対する意見等

(宮菌委員長)

ただ今、候補として、151 件の中から、8 件の小学校名を抽出いただきましたが、さらに委員の方から、もう少し議論を深めていきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

1 番多いのが「嵐南小学校」、次に「第一小学校」となっておりますが、何かご意見いかがでしょうか。

(阿部委員)

私も第一中学校に入って、上っていく小学校ということで、「第一小学校」という名前も良いかな、と思いました。しかし、「第一」という名前は、普通「第二」「第三」がある中でつけるのではないかと思います。

本校についてだけ「第一」という数字が入るとするのは、ちょっと馴染めないのではないか、という気がしたというのが、候補に挙げなかった1つの理由でございます。

(宮菌委員)

ただ今の阿部委員のご意見に対しまして、それについて何か新たな視点、ご意見、もしくは質問でも、何かありますか。

(関委員)

私も同じ理由で「第一小学校」を挙げませんでした。私の出身高校が「新潟第一高校」なのですが、それで、「新潟第二高校」がないので、卒業しておいて何ですが、なぜ「第一高校」とつけたのだろうと、ずっと思っておりました。「第二」ができる予定もないのに、「第一」とつけるのはどうなのだろうという考え方で、「第一」はどうなのだろうかと、思いました。

(上石委員)

先ほども言いましたが、小学校というのはやはり、その地区の小さな子どもたちが通うのですから、私は、その地域に馴染みやすい名前をつければ良いと思います。「嵐南」と言うと、とても範囲が大きいような気がします。

将来的には、人口がどんどん減ってきて、向こうの鱈田小の方の子どもたちが来るかもしれませんが、現在で言うならば、「嵐南小学校」と言うと、地域が広がったという気がします。向こうは月岡の方から、こっちは土場まで来るでしょうけども、なんとなく地域が以前より広がったように聞こえるような気がします。

三条小学校は別としましても、裏館小学校にしても、一ノ木戸小学校、大島小学校、みんなその小さな地域の名前を取っておりますから、私は「南四日町小学校」にした方が、1 番親しみやすいのではないかとあって私も挙げてみたのですが、家内といろいろ相談した結果、「嵐南小学校」を挙げることにしました。

私たちはやはり昔風にものを考えるかもしれません。学校は地域単位なのだと考えて

いましたし、うちの家内してみると、「嵐南」の子どもたちが来るのだから、「嵐南小学校」の方が良いだろうということになりますね。私はそのように考えて「嵐南小学校」にしてみました。

(宮菌委員長)

今、2つほどご意見いただきましたが、1つは「第一」ということについて、「第二」「第三」があるのであれば良いが、それがなくて「第一」というのはいかがなものかというご意見が出ています。

しかし、この議論の中で、私たちは今日どこまで決めるのかということについて、詰めていく余地が一杯あるかと思うのですが、いかがでしょうか。

まず、そちらの方について何かありましたら。

(杉野委員)

先ほどの発言についての補足なのですが、皆さんやはり短縮した言い方をやはり、慣れてくると「第一中学校」の場合は「一中」、「第二中学校」であれば「二中」、「三中」というふうに「第」はつけずに「一中」、「二中」という短縮した言い方をされます。

多分、小学校だと「一小」という言い方をされると思うのですが、その場合に一ノ木戸小学校と少々区別がつかないのではないか、という懸念をしています。

(宮菌委員長)

いわゆる通称のような形になったときにどうだろうか、というわけですね。いかがでしょうか、「第一」に関して。

今のご提案というのは、ここに挙げた候補の中から、もう外してしまっても良いのではないかと、という提案を含んでいるのではないかとと思うのですが、そこまでする必要はないのではないかと、というご意見もあるかもしれませんが、いかがでしょうか。

(上石委員)

事務局の方では、そのような校名の「こういうわけでその校名はつけられた」というのは、ご存知ではないのですか。三条市以外でも。何かあると思うのですが。

(宮菌委員長)

校名の由来ですか。

(上石委員)

由来ですね。三条に限らず、その地域が由来だと思いますよ。荒沢小学校にしても、森町小学校にしても、そうだと思います。

その名前になった理由が、例えば森町小学校は、あの辺一帯の地域の名前を取ったわけですね。その学校の名前をつけるのにその地名を取ることが原則ではないのでしょうか。何か由来があってつけるのだと思います。そのような経緯の学校はないものですか、この周辺には。

(石黒委員)

先ほども言ったように、三条小学校というのは、三条の1番はじめの小学校だという意味だと思います。だからさっき私は「あえて1つ挙げたが、もう1つ挙げるならば第



一だ」と言った時に説明したのですが、三条の1番の小学校だから、「三条小学校」だと聞いております。

「第一小学校」となると、先ほどありましたように、一ノ木戸小学校も「一小」で、こっちも「一小」という略称になると思います。そういう意味では少しうまくないかな、と思ったりもします。

(上石委員)

三条小学校は昔、「一部校」と言いましたよね。「二部校」、「三部校」と。四日町小学校は「三部校」でした。そういうことを考えていくと、最初に言いましたが、やはりその地域に根付く何かがあって、その名前になったのではないかと思います。

(宮菌委員長)

由来ですね、市内の小・中学校の校名の由来というのは、今すぐにはなかなか把握できないだろうと思いますので、一旦ここまででお願いします。もし必要であれば、次回までに事務局に少し調べていただいて、参考にするとか、そのようなことはできるかと思えます。

(丸山委員)

今の上石委員の意見についてですが、その由来について、いちいち調べなくても、この選ばれた委員の中で決めていけば良いのではないのでしょうか。昔に遡るのではなく、今は今の決め方がありますので、それで良いのではないかと思います。

それから、さっき「南四日町小学校」が良いと考えたのですが、「南四日町」という地名がありますよね。最初に挙げておいて申し訳ないのですが、四日町にも条南にも南もみんな思いがありますよね。そうすると、「南四日町」とつけてしまうと、やはり条南学区、南学区からすると、あまり賛同を得ないのではないかという気がします。

そのような意味で、私は「嵐南」というある程度広い地域の方が、嵐南地区の学校がみんな集まって一緒に頑張ろうと、そういう気持ちでいられるのでは、とあって、「嵐南」にさせてもらいました。

(宮菌委員長)

今の議論を拝聴していると、少しこれは除いた方が良いのではないかという候補が1、2挙がってきていると思いますが、例えば「第一」あるいは「南四日町」でしょうか。そのようなところが、地域の受け入れという点から見たときに、どうかということになります。いかがでしょうか。「これは絶対残していくべきだ」というものと、「ここは検討の余地があるのではないか」とそういうところもありましたら、お願いします。

(宮原委員)

あえてご意見を申し上げますが、なぜ「第一小学校」と私が1番に申し上げたかというのと、やはり小中一貫ということ、先駆けてやるのだという学区の、ちょうど一緒になったということで、小学校と中学校の名前を統一した方が良いのではないかと思ったからです。

「三条第一」という応募でもありましたが、「わかりやすく同じが良いと思う」という意見もありましたし、私が第一中学校は「三条第一中学校」かどうか最初確認したの

は、「三条」がなくても「第一」でも同じことだと思いますが、そういう意味では統一した方が良いのではないかということで、私はあえて「第一小学校」というのを入れたわけです。

私は、実は三条小学校の卒業なので、三条小が一部校だったという話も聞いておりますので、そういう意味では迷うところはあったのですが、あえて小中一貫という教育システムを、一体校として取ろうとしていることに対し、名前を統一した方が良いのではないかということで、候補に挙げさせていただいたということです。その辺りを、ただ地名だけのことでなくて、考慮して議論の中に、頭の片隅に置いていただけたらな、と思っております。

(宮菌委員長)

今回の統合する小中一貫の学校の校名制定というところも考えてはどうか、というご意見ですね。他にいかがですか。

(杉野委員)

反論するようで申し訳ないのですが、第二中学校はもう一ノ木戸小学校とスタートしております。「第二中学校」、「第二小学校」と校名を改めずにスタートしておりますので、その辺りを考えると、あえて「第一小学校」、「第一中学校」でなくても構わないとも考えられますので、あまりそこに拘ることもないかなという気はします。

(宮菌委員長)

今そこに議論が行っておりますので、ここでなかなか、最終決定はもちろんできないかも知れませんが、どうでしょうか、今、皆さんの思いはどのようなところにあるでしょうか。

(阿部委員)

私は、「第一小学校」という校名は、「第二」があり「第三」があるという、中学校のような場合には適当な名前かなと思っておりますが、今回の場合は、少々馴染めないのでは、と思っ候補に挙げなかったわけですが、今別の意味で、三条小学校が「第一小学校」ではないか、というご意見もありました。私は途中から、新潟の方からこちらへ参ったもので、昔のことまではよくわからなかったわけですが、そのことは忘れても良いのではないかという気もいたします。第一中学校に繋がる小学校と考えられるならば、あえて三条小学校が第一なのだとか、あるいは「一小」というときに混同される恐れがあるというようなことは置いておいても良いのではないかと思います。

(宮菌委員長)

「第一中学校」という、今ある校名をどちらかという優先的にするか、それとも接続というところを重視する考えなのか、と承っているのですが、ここでなかなか「それは良い」というところ、また「それはまずい」というところも今の時点では少し決めかねるところがあるかと思っております。

賛否両論分かれておりますので、ここでは一応、残しておきたいなと思っておりますが、ほかに「この校名はいかがなものか」など、ご意見ございましたら、いかがでしょうか。

(小越委員)

単純なことで、やはり三条に生まれ育っていますと、1番馴染みが深いのはやはり「嵐南地区」、「嵐南小学校」です。ほかの人から見ても、嵐南地区というところだとすぐ、ほとんど三条駅の方だとすぐわかってきますので、「嵐南」という思い入れが強いのですが、私も「第一小学校」というのは、宮原委員が言ったように、小中一貫校の流れに乗っていくなら、「第一中学校」、「第一小学校」がすんなりするような気もいたしますが。

ただ、さっき言われた、四日町は「四小」と言われており、裏館小は「裏小」と言われていると、これは一ノ木戸も、「第一小学校」ができると「一小」と言いづらいなというところがあります。

(宮菌委員長)

そうですね、地域の方々の愛着という観点から見ると、「嵐南」という方が良いが、新しい学校を立ち上げるという理念から見ると、「第一小学校」という考え方というか、こちらの方が良いのではないかと。今その2つにご意見が集中していますが、いかがでしょうか。

(鈴木委員)

私は「嵐南」に入れたのですが、一部「区域が広い」などという話もありましたが、確かに五十嵐川からこちらはもう南になるわけです。でも、今四日町小学校、条南小学校、南小学校という立場で考えれば、あまり区域が広いということを考えなくても、あくまでも広く五十嵐川の南北に対して、「嵐南」。そんな思いで「嵐南」が良いのではないかと、そう思って選ばせてもらいました。あとは「南四日町」も。

実は、「第一小学校」も私3番目に挙げようかなと思ったのですが、やはり先ほどのことを考えて、「第一中学校」、「第一小学校」というのはいかがなものかと、そのような思いでやはり、地名的なものが良いかな、という思いで、区域は全体的で広いかもしれないが、やはり五十嵐川からこちらは昔から「嵐南」「南北」という形で、そういった言葉も聞いているわけですので、「嵐南」という形で選ばせてもらいました。

(宮菌委員長)

大体これまでの議論と同じような主旨かと思いますが、ほかの委員からはいかがでしょうか。

最初にもお断りしましたが、数が多いからそれでそのまま優先順位がつくということはありません。このことは、一応ご了解いただいているかと思いますが、ということで、1つもしくは2つ挙がっている中でも、これは是非とか、難しいのではないかと、そういうご意見は、いかがでしょうか。

これまでの議論のように、今日、できるだけ皆さんの思いなどを出していただければ、次の決定がスムーズになっていくのではないかと思います。

(石黒委員)

3つ目に考えられるのは、「嵐南第一」ですね。

(宮菌委員長)

今2つほど挙がっているが、3つ目を考えるとするならば、「嵐南第一」であるとい

うことですか。

(石黒委員)

はい、どちらも入っています。折衷案ですね。

(住吉委員)

私も考えたのですが、「嵐南」という区域もわかって、「第一」をつけることで、小中一貫校としての小学校というのがわかるように。ただ、「嵐南第一小学校」というのは少し長いかなと思いましたが、わかりやすい、その小学生が一中に進むという意味での「第一」も含め、「嵐南」の区域ということで、選ばせてもらいました。

(宮菌委員長)

2つの折衷案ということで、それも考えられるかというご意見ですね。今3つくらい案が出てきていますが、皆さんいかがでしょうか。

やはり、地名が入っているということと、今度は小中一貫という、新しい学校という、地域が目指していくという理念と言いますか、そういうものをどう折り合いをつけていくかというのが、課題になるようです。

(上石委員)

「第一」とつけるというと、「第二」が出てくる可能性がありますよね。そうしたらそこで番号は第1番ですよ。第1番ということは、第2番がこれからどこかにできると考えられますよね。

「第一中学」の「第」は、「第一中学」、「第二中学」とあったから「第一」というと、私はそのように話を聞いておりました。小学校の場合は「第一小学校」とするのは、どこかに「第二小学校」がこれから嵐北の方にまた統合されてできる、というのであれば、わかります。つまり「第一」となると、次の「第二」が欲しくなるという考え方になると思います。

ですからやはりこれは、固定した地名をつけるのが良いし、おまけに小中一貫校ではなく、一体校なので、固定した地名の方がよほど校名には意義があるのではないかと私は考えております。

(宮菌委員長)

すみません、私がここで用語として「一貫」という表現を使っておりましたが、そこは今ご指摘があったように、そちらの方に訂正させていただきたいと思います。

「第一」があれば「第二」が、という議論が先ほどから同じようなところかと思いますが、どうでしょうか。今日、今の議論の進行具合からしますと、皆さんの合意があって1つに決まるということは多分ないだろうと見ているのですが、そうであればこそ、もう少し次回へ向けてのご意見とか、理念と地名と、どうするか、そういう方向性のことで何かありましたらお願いします。

(関委員)

では、あえて多数意見に反対するのですが、私は「嵐南」は少しどうなのだろうか、と思っております、月岡小学校と西鱈田小学校の人たちも、「私たちも嵐南地域なんだけど、何をしてくれているんだ」と感じる可能性もあると思いますね。

それで、「嵐南」はないかな、と思いました。

(宮菌委員長)

そういう校名だと範囲が広すぎるということですね。これはどうでしょうね。

(上石委員)

ずっと広範囲ですものね、月岡や西鱈田もありますからね。下新田とか土場の方は良いのでしょうか。土場は小中一貫校の方ですよ。

(関委員)

土場は条南学区です。

(上石委員)

あとは、もっと向こうへ行ってしまうと、栄の方じゃないですか。実際我々は、月岡から鱈田へ、それから下新田の一角を嵐南と呼びますね。それ以外のことは嵐南と言わないはずですよ。昔の、土手に囲まれた地域がありましたよね。月岡からずっと原信のあたりまで、水防用の小高い土手がありました。それが今はもう平らになってしまいましたが、やはりその内側を洪水の関係で嵐南と言っていたような記憶があります。

月岡から片口のところに、蛇のように曲がりくねった川があります。あの川が1つの水を防ぐ大事な土手でした。そのようなことを考えると、やはり嵐南というと、広範囲になるような気がいたします。

(宮菌委員長)

校区名と地域名の不一致も悩ましいところですが、この辺りは皆さんの日常の感覚とか、住んでいる人の思いとか、そういうものがかなり直に反映するところなのではないかと思えます。

(池浦教育部長)

大事なところなので、できるだけ事務局は口を挟まないように、ご意見を拝聴させていただいております。

進め方の、1つの考え方でございますが、私どもとしましては、今日各委員さんから3つ程度の候補を出していただくのが当初の予定でした。議事中、2つないしは3つ候補を出していただきましたので、それを記載したものを一応第一候補ということで位置づけをさせていただきまして、できれば次の議論に進むために、いろいろなこれからまたそれについてのご意見を続けていただきたいと思えます。

最終案についての考え方は、この前もご質問がございまして、1つが良いのか2つが良いのか3つに絞った方が良いのか、というご意見を頂きましたので、その辺を併せて議論をしていただいて、例えば3つということになれば、できれば今日の段階では、これを3つまでに絞りこむというような作業をしていただけると、次の議論に繋がりやすいのではないかと思います。余計なことでしたら、またその辺りを委員長さんにお任せしたいと思えますが、よろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

では、ひとまず、ここに8件ありますので、これをまず、この委員会の第一候補案として確認していただくというところ、よろしいでしょうか。

——異議なしの声あり——

では、そのようにさせていただきたいと思います。

今事務局の方から少しご提案がございましたが、これにつきましては、少し日程等の問題と少し絡んできますので、次に移らせていただきたいと思います。

#### イ 校名候補案（最終）の選定方法について

大平教育総務課長が説明

##### ・ 最終候補案の選定方法について

(宮菌委員長)

ただ今、事務局から資料2を基に少し説明いただきましたが、校名候補案の最終の選定方法について1案、2案ということで、最終校名案を1点選定して、教育委員会に報告か、あるいは、3点程度を挙げて教育委員会に提案するか、という話がありましたが、これにつきまして何かご意見ございますか。

教育委員会に複数挙げた場合、また教育委員会の方で議論するということが、非常に難しくなることも考えられるかと思っておりますので、この委員会の中で、ある程度絞り込んでおいた方が良いのではないかと思います。1案2案ございますが、何かご意見がありましたらお願いします。

(石黒委員)

今日初めて生の声をお聞きしたと思います。ここでは決めかねると思いますし、思いをみんな数字に書いたのでございますので、2つくらい、できれば3つくらいに絞った方が良くと思います。一覧表があるのですが、「嵐南」という類が55件「嵐南」と書いてあるのがありますけれども、これを1個に絞るといふより、少し間を置いて2個か3個くらいに絞った方が良くはないでしょうか。

(宮菌委員長)

今のご意見ですと、この第2案に近いところでしょうか。複数案を、というご意見でしたが、教育委員会の方でまた議論していただくということを前提とした案だろうと思っておりますが、いかがでしょうか。

今日はまだかなりご意見が割れていると思うのですが、次回までに少しお考えいただいて、その中で絞った方が良くということになると、1案ということも考えられると思っておりますが、いかがでしょうか。

(宮原委員)

最終的には2月に決めれば良いということですか。

(大平教育総務課長)

当初予定では、今年度中ということになっておりまして、議会への提案も含めてということも考えれば、遅くとも2月ということをお願いをする、ということです。最大長引いても、2月には決定をいただきたいということで、場合によっては、次回決定をいただくということになるかとも思いますので、それも含めて、お願いしたいと思っております。

(鈴木委員)

2月の末までということですか。

(大平教育総務課長)

2月のこの委員会を開く時までですね。

(宮菌委員長)

それを踏まえて何かご意見はございますか。

(宮原委員)

そういうことならば、今日はこれだけ絞ったわけですから、次回にある程度決められるのではないのでしょうか。数が大分少なくなりましたから。

ただ、そこで1つにするか2つにするかは別として、1案2案くらいで決められるような気がします。あまりに拙速すぎるというご指摘はあるかもしれませんが。

(大平教育総務課長)

次回、校歌・校章も制定方法の説明をさせていただいた上で、議論に入りたいと思っております。特に校歌につきましては、あくまでも校名が決まらないと具体的な検討もできませんので、事務局といたしましては、できるだけ早い時期にご決定いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(小越委員)

学校名が決まらなかったら校章も決められませんからね。

(宮菌委員長)

今の事務局のタイムスケジュールを踏まえたご意見ですと、できるだけ本委員会で方向性を示して、教育委員会の方へ最終案として提案できればというご意見かと思えます。

(上石委員)

私は、各委員が考え抜いてこれだけ出したのですから、ここから絞るのは相当の至難の業だと思えます。余程のことがなければ理路整然と答えることはできないと思えます。例えば「嵐南」を考えれば広範囲であるし、「南四日町」を考えれば、なぜ「南四日町」か、たまたまその地名に学校ができるからこうしたのだ、ということに結論付けられれば良いですが、やはりその辺りが、これだけ選ばれたのですから、難しいと思えます。

(宮菌委員長)

校名制定委員会の役割として、私たち自身がこの委員会として、責任を持って教育委員会へ提案・報告するという役割があるかと思えます。そこで、意見の集約が難しいかとは思いますが、できるだけそこへ向けて議論を尽くしていったら、1案でしょうか。あるいは2案だと教育委員会の方でまた議論するということになりますが、時間がかかってしまうというところがあると思えます。

できれば、1案の方で提案できないかと、私は考えておりますが、いかがでしょうか。

(小越委員)

私も、せっかくこれだけの応募があったのですし、委員会の意見も出したわけですから、12月の委員会では1つに絞るべきだと思います。そうでないと、12月から2つなり3つなり出されて、教育委員会でもまた同じ議論を積み重ねてゆくということは、今1つに絞ることにとっても時間がかかっていますから、やはり12月の委員会では、遅くとも、

1つに決めるべきではないかと思っています。

でなければ、何のために集まっているかということにもなろうかと思います。意見を言ったことも、基本的に数が出たことも、応募と委員会の中の意見も、尊重しなければならないと思っておりますので。

(宮菌委員長)

意思決定するというのは責任も伴いますし、重い決断を下さなければならないこともあると思いますが、委員会の中で議論を尽くしていけば、それは了解していただけるものと考えますので、是非できましたら、1案の方向で次回絞り込みを図っていくところで、お願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

—異議なしの声あり—

ありがとうございます。それでは、第1案の方向で、決定ということにさせていただきたいと思えます。

・意見が割れた場合の最終決定方法について

(宮菌委員長)

最終校名案の選定方法は、全員合意という形が1番望ましいと思いますが、そのときに、どういう方法をとっていくのか。例えば、投票で多数決にするとか。合意を目指していくということは1つ提案したいと思いますが、それでも難しければ、多数決の投票という形で決めるという方法があるかと思うのですが、いかがでしょうか。ご意見をお願いします。

(宮原委員)

多数決が良いのではないのでしょうか。委員長がおっしゃられるように、話の中で、とうとうやはり決まらないということであれば、私は、無記名で投票した方が良いのではないかと思っておりますが、いかがでしょうか。

(石黒委員)

賛成です。

(丸山委員)

賛成なのですが、委員は12人ですね。最後は過半数が、決選投票もあって、要するに、4票や5票で決まるのではなくて、やはり、最終的には過半数が良いと思います。

(宮菌委員長)

単に多数決ではなく、過半数で、ということでしょうか。

(丸山委員)

そうですね。12人であれば、過半数は要するに7票ですね。7票以上なければ。

(宮原委員)

もちろんそうなのですが、その前に議論を尽くして、この中から絞り込んで、そこから投票をするという形ですので、それで決まらなければ、またもう1回やれば良いことなので、とにかく議論を尽くすことを大事にさせていただきたいと思えます。

(宮菌委員長)

では、いかがでしょうか。方向性は大体見えてきたと思うのですが、一応合意を目指



していくことを前提としたいと思います。そのために、しっかりと議論を尽くしていくということをまず、前提としたいと思います。それでも決まらない場合は、無記名で投票ということにさせていただいて、その場合もできるだけ多数になるような方法で詰めていくという手順を踏んで行きたいと思います。

いかがでしょうか。そのような方向でまとめたいと思いますが、何かご異議等ございますか。

—異議なしの声あり—

ありがとうございます。確かに、自分たちで決定するというのは、この委員会1人1人のメンバーの意思決定・判断というものが、市民の皆さまにも返っていきますし、そして私たち自身の意志決定のあり方というところが問われてまいります。委員会としてここを引き受けていくというのを、最初に合意しておりますので、そういうところでは是非、次回の決定に向けて進めていただければ、と思います。

それでは、ご異議がございませんので、2点確認しておきたいと思います。1つは、選定数に関しては第1案「第一次候補の中から最終校名案1点を選定し、教育委員会に報告する」。これが1つ。そして、もう1つ、校名候補の選定方法については、限りなく合意を目指し、それでも決まらない場合は無記名の投票によって選定するということです。その際は過半数をもって決するということにしたいと思います。

## ウ その他

### ・ 記念品について

(鈴木委員)

今、1点に絞って、次回例えば「嵐南」に決まった場合、1人3,000円程度の記念品を差し上げますという話がありましたが、もし「嵐南」に決まった場合、47人ですが、これをどうするかということについては、我々で検討するということになるのでしょうか、それとも事務局にお任せするということになるのでしょうか。

(大平教育総務課長)

第1回のときにそのようなお話もさせていただいておりますので、次回かその次くらいにそれらについても事務局で提案させていただきますので、その中で委員会として検討いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

多数の場合は規定どおりになるということですね。

### ・ 必要資料について

(丸山委員)

事務局をお願いなのですが、当然議事録を作られるとは思いますが、それともう1つ、併せて、今校名案が8つ出ましたけれども、各委員が言った理由を一覧表にして、次回の会議の1週間前くらいまでに送ってもらえると、絞りやすいかと思っておりますので、是非そのようなものをいただければと思います。当日言われてもまた迷いますので、お願いいたします。

(宮菌委員長)

事務局から事前に今日の提案理由等も含めて、送っていただければ、ということですね。

(大平教育総務課長)

議事録と併せてそれぞれの校名と委員の発言、理由について整理したものを事前に配布させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

次回まで2か月ほどございますので、またその間に各委員の皆さんも少し考えを深めていただければと思います。

・ 受付窓口に関する反省点について

(関委員)

つい先日、南小学校の方で文化祭があったのですが、その際PTAで集まりまして、今回の校名制定の応募について、私の方で意見を受けました。ただ、今これを言ったからといってこの件がこれからどうこうなるというわけではないのですが、一応次に対する反省として、皆さんにとらえていただきたいのが、学校に提出する方法はなかったのでしょうか。子どもたちの提出先が。

(大平教育総務課長)

今回第一中学校と、小学校3校につきましては、子どもたちも応募できるように、学校経由でそれぞれお願いをしてあったところがございます。数も、実際資料にまとめてあったのですが、156通ありました中で、小学生が42人という結果になっておりますので、よろしく願いいたします。

(石黒委員)

これは学校に出したのですか。

(大平教育総務課長)

学校にそれぞれお願いをして、実際、学校でまとめて、事務局に来たものでございました。ただ、完全に周知がされたかと言いますと、不十分だったと思いますので、その点は反省点として考えていきたいと思います。

(関委員)

そうですね、その一文を加えなかったのが、私としても失敗だったな、と思ったので。

(宮菌委員長)

学校で取り組むことも考えられたということですね。

(関委員)

はい、学校も提出先として書けば良かったかと思いました。結構、子どもたちが、50円切手を貼るのが大変だったという話も聞いております。

(宮菌委員長)

それでは、それは今後の反省として生かしたいと思います。

では、事務局の方もほかに何かありませんか。

それでは、本日の審議はこれで終了させていただきます。

(4) 次回制定委員会の日程について

太平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成 24 年 12 月 25 日 (火) 午後 1 時 30 分

会 場 三条市役所栄庁舎 201 会議室

8 閉 会 平成 24 年 10 月 22 日 午後 2 時 34 分